



# 希望の鐘 The Bell of Hope



The Y's Men's Club of Kawagoe  
〒350-0046 川越市菅原町 7-16

## 川越ワイズメンズクラブ会報

No. 24-4

10月号

発行 2021年10月10日

Chartered 1998

クラブ会長主題: 「自クラブの活動への参加と併せて、  
部・区・国際などの活動にも積極的に  
参加しよう!!」

国際会長主題: “Y's Men with the World ”  
「世界とともにワイズメン」

アジア太平洋地域会長主題:

“Make a difference beyond the 100th”  
「100年を超えて変革しよう」

東日本区理事主題: “ Think for the next generation”

「私たちは次の世代のために何ができるか？」

関東東部部長主題: 「私の地域から世界に広げよう青少年を  
支えるワイズの輪・和・ワッ！」

会 長	吉野 勝三郎
副 会 長	松川 厚子
会 計	森下 千恵子
書 記	利根川 恵子
地域奉仕・Yサ	吉田 公代
メネット	吉田 公代
国際・交流	生川 美樹
ユース	山本 剛史郎
ファンド	山崎 純子
担当主事	河合 今日子

### 10月の聖句

聖書はすべて神の霊の導きの下に書かれ、人を  
教え、戒め、誤りを正し、義に導く訓練をするう  
えに有益です。(テモテへの手紙二 3章 16節)

All Scripture is God-breathed and is useful for  
teaching, rebuking, correcting, and training in  
righteousness. (2 Timothy 3:16)

### 2020年9月の統計 (9月25日)

在籍10名 出席者9名

出席率 90%

### 10月例会予告

日時: 2021年10月23日(土) 16:00~18:00

会場: 埼玉YMCA川越センター+リモート  
参加

内容: ヨハネスブルグ日本人学校に勤務して  
帰国した川又秀雄さんから、南ア  
フリカ共和国での生活や、海外での  
日本人学校の様子を伺います。めっ  
たに聞けない実体験を是非お楽しみ  
ください。

卓話「日本から約14,000km

～ヨハネスブルグでの3年間～

卓話者: さいたま市教育委員会指導1課  
主任指導主事 川又秀雄さん

### 【川又秀雄さん略歴】

- ・2008年: さいたま市立小学校に奉職。
- ・2015年～2017年: 南アフリカ共和国、ヨハネスブルグ日本人学校に派遣教員として勤務。
- ・現地の幼稚園や小中学校、高校、介護施設、孤児院等との国際交流やカイロ日本人学校(エジプト)とナイロビ日本人学校(ケニア)との3校オンライン交流等を実践。
- ・2021年4月: さいたま市教育委員会着任。

「古本再読」活動を始めました。

会長 吉野勝三郎

今年度から私達の川越クラブでは「古本再読」活動を開始しました。コロナ禍のため、予定していた埼玉YMCA フェスティバルの会場に、集めた古本を展示して、来場者を選んで持ち帰ってもらうことはできませんが、現在は古本を収集して、台帳を作成しています。集めた古本は、埼玉YMCAの好意で、川越センターの3階の一室に保管させてもらっています。

この活動を川越クラブに取り入れたいと考えたのは、IBCのアメリカ・オレゴン州セーラム・クラブが永年Used Book Saleを行っていて、しばらく前に同クラブを訪問した際に、担当の方の自宅の駐車場にうず高く積まれていた古本を見せてもらい、いつかはこのような活動を川越クラブでも行いたいと考えていたからです。

私も後期高齢者となり、私のワイズでの最後のご奉仕と思っています。今後3年位で、この活動の形を作り上げて、川越クラブのCSとYMCAのためのFund Raisingに結び付けたいと思います。

活字離れがますます進んでいるようです。40年も前に、スウェーデンでは、新刊書は図書館の数しか売れないということを聞いたことがあります。日本でも、私の自宅の近くの図書館も文学書は元より、新聞から雑誌、様々な分野の本を自由に閲覧することができます。希望の本がなければ、別の図書館から取り寄せもしてくれます。日本もスウェーデンのようになるのでしょうか。

我々の世代は、紙の消費量は文化のバロメーターと言われました。Zoom会議に自宅から参加される方の背景を見ていると、たくさんの蔵書に囲まれている方が多いです。人生100年の時代を生きる私達ですので、まだまだ「古本再読」のための本の収集はできると確信しています。皆さんの協力をお願いします。



通し番号が付けられ、分類され、「再読」を待つ古本

日時：9月25日（土）16：00～18：00

場所：川越YMCAおよびZoom

1. 「古本再読」活動開始に向けて

- 1) 本の分類、目録の作り方：
  - ① 分類：児童書、言語、小説、その他と大まかに分類する。
  - ② 目録：通し番号でデータベースを作ることとし、書名、著者名、出版社、出版年、受領日、提供者名、分類番号、提供日を入れる。  
公開用には、書名、著者名、出版社、出版年だけとする。
- 2) 古本の保管：当面、埼玉YMCA川越センター3階に、段ボールに入れて保管
- 3) 寄付金の扱い：
  - ① 紅あかの口座を使用する。
  - ② 山崎さん所有の紅あか用郵便振替用紙を利用して、古本利用者に寄付のお願いをする。
- 4) 「アースディ川越 in 昭和の街」クラブ紹介スライドの「古本再読」部分をより詳しく説明するスライドを追加。内容を承認
- 5) 元さいたま市立図書館職員の大嶋みゆきさんに本の分類をご協力いただいた。大嶋さんは継続してご支援くださるとのこと。感謝。

2. その他の協議事項

- 1) パンガシナン・クラブとのIBCについて  
所沢クラブ、埼玉クラブは現在IBCを結ぶ状況ではない。いきなりIBCではなく、交流を通じて気運が盛り上がるように努力する。  
取りあえず、パンガシナン・クラブ誕生お祝い会をYMCA関係者、ワイズメンズクラブ・メンバー、フィリピン・ワークキャンプの元メンバーなど、広くお声がけして行う。11月頃を目処とする。  
ハイデラバードとは、IBCとしては提携せず、このまま友好関係を継続する。その旨、吉野会長からクマールさんに連絡する。
- 2) チャリティーランの実施方法  
昨年同様、YMCAの子どもたちと一緒に、11月23日（火・祝）午前9時30分から水上公園で実施。浦和YMCAの子どもたちも参加予定。子どもたちへのプレゼントも昨年同様、吉田さんが中心となって用意。浦和の子どもたちも含める。詳細はYMCA報告参照。

### 3) Y-森のコーヒー販売について

すでにほとんど売れている。再度注文する。アカ族の支援がどのように行われているか、説明文を用意して販売する。説明文は吉田さんが準備。

## 3. 報告

- 1) 関東東部部大会参加申込者確認 8名登録  
部大会の内容については、別途報告参照
- 2) 「アースディ川越 in 昭和」について
  - ・協賛金支払い済み
  - ・クラブ紹介 10月3日(日) 10:00~11:00のどこか。
  - ・関東東部部大会(10月2日)はオンラインによる開催と決定
- 3) わいわい食堂「ひまわり基金助成事業」助成金10万円決定。書籍、スポーツ用具、消耗品、講師謝礼に充当。執行に当たってはYMCAと相談。
- 4) ワイズ・ナイトフォーラム  
10月24日(日) 20時、利根川恵子がオリンピックのボランティア経験の卓話。
- 5) その他
  - ① 今後の日程
    - ・10月例会:10月23日(土) 16時~18時  
上記P.1の10月例会予告参照
    - ・11月例会:11月27日(土) 16時~18時  
大久保理事によるデジタル・トランスフォーメーションについての卓話
  - ② 「紅あか」について
    - ・10月から注文を受ける
    - ・部大会で会長がアピール
    - ・申込書を利根川が山崎さんに送付
    - ・申込者一覧表は昨年同様利根川が作成
    - ・参考レンピに「サツマイモのガレット」を追加

## 4. YMCA 報告

観光農園で芋掘りを実施。詳細は別途 YMCA 報告参照。

### 関東東部部大会報告

関東東部書記 利根川太郎

10月2日(土)に第25回関東東部部大会が、Zoomによるオンラインで開催されました。オンライン開催ということで、例年の対面での大会より多くの参加をいただき、120名を超える参加者がありました。川越クラブからは、吉野会長をはじめ8名の参加をいただきました。紙面を借りて感謝申し上げます

部大会は3部構成で開催されました。第1部は立教大学教授・萩原なつ子先生のご講演です。萩原先生は環境社会学、ジェンダー研究、非営利組織論をご専門にされ文部科学省中央教育審議会委員なども歴任さ

れました。

今回のご講演は、大澤部長が「としま F1 会議」の講演を聴いて感銘を受け、萩原先生には是非にとお願いし快諾をいただいて実現しました。演題は「人生100年時代を生き抜くために~としま F1 会議とその後の豊島区の様子を通して~」です。

2014年日本創生会議が発表した「消滅可能性都市」に東京23区で唯一豊島区が指摘を受けました。これに危機感を持った豊島区が緊急対策本部を設置した中で重要な柱となったのが「としま F1 会議」です。

「F1」とは、マーケティング用語で20歳から34歳までの女性のことを指すそうですが、区内在住者や在勤・在学者100名を公募したキックオフイベント「としま100人女子会」の参加者19名に区内の多様なメンバーを加えて「女性が暮らしやすいまちづくり」をテーマに提言を行ったものです。提言の事業は実際に予算が計上されて実行に移されているそうです。

萩原先生のご講演は、人生100年時代を生き抜くために、女性にとってだけでなく男性にとってもジェンダーから自由になることの大切さを、軽快で愉快な内容でお話いただき、としま F1 会議のプロセスも大変貴重なお話でした。中でも高校三年生の替え歌は爆笑を誘っていました。

第2部は、大澤部長の開会点鐘で部大会を開催しました。所沢クラブ・渋谷弘祐さんの聖書朗読・祈祷、小関京子実行委員長の歓迎の挨拶に続いて、東日本区大久保知宏理事から祝辞をいただきました。

第3部は、飲み物や軽食を各自が用意して、気軽な懇親会を開催しました。37の方がZoomに残っていただき、三つのブレイクアウトルームに分かれて1時間それぞれの話題で盛り上がっていました。萩原先生も次の会議までの時間が許す限りということで残ってください、萩原先生のグループには希望者が殺到しました。

コロナ禍で対面での部大会は開催できませんでしたが、東京武蔵野多摩クラブの渡辺大輔さんにZoom操作を全面的にご支援いただき、盛況かつスムーズな進行の大会となったことを感謝申し上げます。



